



令和5年(2023年)

11/20

第1596号

市報

こだいら



手話

ふるべー



素案にご意見を.....	2面
申込み制 胸部(肺がん・結核)健診.....	3面
市長と話しませんか タウンミーティング...	4面
12月3日(日)~9日(土) 障害者週間.....	5面
スペシャルおはなし会.....	6面

手話から始まる思いやり



聴覚に障がいがあり、声で会話することが難しい方は、コミュニケーションの1つとして、手話を使います。互いに思いやりをもって暮らせる地域社会の実現のため、手話をきっかけに、手話や聴覚に障がいのある方への理解を深めませんか。

問合せ 障がい者支援課 ☎042(346)9540

手話とは

聴覚に障がいのある方がコミュニケーションをとったり、物事を考えたりするときに使う言語です。手指の動きや表情などを使って意思を視覚的に表現します。聴覚に障がいのある方にとって、手話は生活するうえで、とても重要な言語です。

手話の一例

市内小学校の総合的な学習の時間に学ぶ、日常で使う手話をご紹介します。声をかけるきっかけに、手話を使ってみませんか。

あいさつ



右の額から手のひらが少し相手に見えるように、斜め前に少し出す。おはよう、こんにちは、こんばんはの意味になる。

大丈夫



そろえた右手の指先を湾曲させ、左胸から右胸に移動させる。首をかしげて尋ねる表情をしながらすると、「大丈夫ですか」と質問している意味になる。

生活での困りごと

聴覚障がいは見た目では分かりづらく、困っていても周りの人に気付いてもらえません。また、話しかけたのに無視されたなど、誤解もされやすいです。



背後や周囲からの呼びかけや、放送の呼び出しに気が付きにくい



窓口やレジなどで意思疎通が図りにくい



自転車や緊急車両などの音に気が付きにくい



聴覚に障がいのある方かも、と思ったら...
できることから、思いやりのある行動を

困っているときは...

話しかけるときは...

筆談や音声変換アプリなどを使う



どのような配慮をする
とよいか、手話や筆談
などで尋ねる



視界に入ってから話し
かけたり、肩をたたく
などして知らせる



筆談やアプリを使う際
には、短く分かりやす
い文章にする

聴覚に障がいのある方にお話を伺いました

聴覚に障がいのある人は、情報を知る時のタイムラグや情報量に、聞こえる人との差があることで不安に感じることがあります。目に見える形で案内や説明があったり、手話や筆談による対応ができたりすると、安心して過ごすことができます。

呼ばれていることに気付かなかったとき、小学生くらいの子どもの肩を叩いて教えてくれて、とても助かったことがあります。こういった思いやりのある行動が広まっていくと嬉しいです。

手話がいつでも、どこでも、誰とでもつながることができる環境やきっかけになればいいな、と思っています。



小平市聴力障害者協会の皆さん

手話を知る

講演会 手話は言語である

東京大学非常勤講師の市田泰弘さんから、言語のしくみや社会との関係を通して、手話が言語であるということの意味を学びます。

とき 12月2日(土) 午後2時~4時 1時30分から受付

ところ 福祉会館4階小ホール

対象 市内在住・在勤・在学で手話や言語に関心がある方

定員 140人

申込み 11月30日(木)までに、ファクシミリまたは電子メールで氏名(ふりがな)、連絡先(ファクシミリ番号またはメールアドレス)を小平市聴力障害者協会へFAX042(341)5397、✉syoutyoukyou@gmail.com

市内の手話サークル

市内には、小平市社会福祉協議会登録ボランティア団体である手話サークルがあります。興味がある方は、お問い合わせください。

▷手話サークル火曜会 火曜日 午後1時30分~3時30分

▷小平手話サークル 火曜日 午後7時~9時

問合せ こだいらボランティアセンター ☎042(346)1424、FAX042(349)0152

市では、こんな取り組みも /

手話通訳者を配置

とき 第1・3火曜日 午前9時~午後5時

ところ 健康福祉事務センター1階

※ほかに、月曜・水曜・木曜・金曜日の午前10時~午後4時(正午~午後1時を除く)に、手話通訳ができる窓口案内職員を配置しています。

問合せ 障がい者支援課 ☎042(346)9540、FAX042(346)9541